

CS 映画専門チャンネル ムービープラス オリジナル番組「この映画が観たい」 5月は漫画家の松本零士さんが登場

CS 映画専門チャンネル「ムービープラス」(ジュピターエンタテインメント株式会社、東京都千代田区、代表取締役社長:寺嶋博礼)で放送中のオリジナル番組「この映画が観たい」。この番組は、様々な分野で活躍する著名人の方々にかけがえのない“映画体験”と、それに纏わる人生の様々なエピソードをお聞きする番組です。

5月は漫画家の松本零士さんが登場。

小学生・中学生の頃は学校の引率でたくさん映画を観させてもらい、高校生の頃は学校帰りに映画館に通っていたという松本零士さん。

学校の引率で連れて行ってもらった『若草物語』と『風と共に去りぬ』は、子どもながらに強烈に印象に残っているという。『若草物語』での、不遇な生活を強いられる少女の「私には小説がある」というセリフに感銘を受け、松本少年は「俺には漫画がある」と気合が入り、どんなに辛い状況でも絶望はしなかった、と当時を振り返りました。『風と共に去りぬ』では、戦時中から敗戦に至るまでの激動の時代を自身の経験と、映画で描かれる敗れた者の苦しみや辛さが重なり合い、主人公スカーレットの心情が手に取るように分かるとコメント。有名なスカーレットのセリフ“I'll never be hungry again.”(私は二度と飢えない)は、まさに当時の自分の標語になっていたとか。そして青春映画としては、後にも先にもこれを超えるものはないとまで断言し、一番好きな映画だという『わが青春のマリアヌ』は、高校時代の学校帰りに映画館でご覧になった作品。映画の幻想的な世界に引き込まれ、自分も幻想的な漫画を描きたいと強く思うきっかけになったと語ってくださいました。また、松本さんの好きな映画に共通しているのは気の強いヒロインの存在。「銀河鉄道 999」のメーテルや「宇宙戦艦ヤマト」の森雪など、自身の漫画のキャラクターにも影響を与えたそう。そのほかにも、松本零士さんの世界観に大きな影響を与えた映画について、貴重なお話を伺った「この映画が観たい#21 ～松本零士のオールタイム・ベスト～」。



番組に出演する松本零士氏

「この映画が観たい#21 ～松本零士のオールタイム・ベスト～」

初回放送: 5月4日(月・祝) 23:00～23:30

再放送: 5月13日(水)深夜 1:15～1:45、17日(日)8:30～9:00、
21日(木)16:00～16:30、28日(木)8:15～8:45

松本零士 プロフィール

1938年、福岡県出身。同人グループ「九州漫画研究会」を結成、1954年 高校1年生のときの投稿作が「漫画少年」に掲載されデビュー。その後「男おいどん」が講談社出版文化賞を受賞。1974年秋から放送されたテレビアニメ「宇宙戦艦ヤマト」をきっかけに「銀河鉄道 999」など松本零士ブームが巻き起こり社会現象に。紫綬褒章、フランス芸術文化勲章シュバリエを受章した日本漫画界の重鎮。



6月は、ラッパー・ラジオパーソナリティのライムスター宇多丸さんが登場します！どうぞご期待ください。

「この映画が観たい」公式ページ <http://www.movieplus.jp/guide/mybest/>

ムービープラス(ジュピターエンタテインメント株式会社、代表取締役社長:寺嶋博礼)は、今年開局26年目を迎えた日本最大級の映画チャンネルです。ハリウッドのヒット作をはじめとする国内外の選りすぐりの映画、映画祭、最新映画情報を放送し、J:COMなど全国のケーブルテレビやスカパー！、IP放送を通じ、約720万世帯のお客様にご覧いただいています。URL: <http://www.movieplus.jp>

本件に関するお問い合わせ先

■ 一般の方のお問い合わせ先 ■

ムービープラス カスタマーセンター

TEL: 0120-945-844 (受付時間 10～18時/年中無休)

■ 報道関係の方のお問い合わせ先 ■

ジュピターエンタテインメント(株) ムービープラス PR担当

TEL: 03-6760-8410 (代表)